



## 【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤  
 使ってはならない消火剤 : 情報無し  
 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。  
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。  
 消火作業は、可能な限り風上から行う。  
 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

## 【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。  
 多量の場合、人を安全に待避させる。  
 必要に応じた換気を確保する。  
 風上から作業する。  
 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。  
 封じ込め及び浄化の方法及び  
 機材 : 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が  
 発生しないように回収する。  
 二次災害の防止策 : 情報無し

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い  
 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
 安全取扱注意事項 : 粉塵を吸入してはならない。  
 適切な排気換気装置を使用する。  
 取扱い後はよく洗うこと。  
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
 粉塵の発生を避ける。  
 粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。  
 保管  
 安全な保管条件 : 密閉した容器に保管する。  
 直射日光を避け、換気の良い40℃以下の室内に保管する。  
 安全な容器包装材料 : 情報無し

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。  
 管理濃度 : 設定されていない  
 許容濃度 : 【粉塵許容濃度】  
 日本産業衛生学会 : (第3種粉塵) 吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup>, 総粉塵 8mg/m<sup>3</sup>  
 : その他の無機および有機粉塵  
 ACGIH : TWA 2mg/m<sup>3</sup>, STEL -  
 パラフィンワックスヒューム  
 10 mg/m<sup>3</sup> TWA (inhalable particles, recommended);  
 3 mg/m<sup>3</sup> TWA (respirable particles, recommended)  
 (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))  
 保護具  
 呼吸用保護具 : 必要により防塵マスク  
 手の保護具 : ゴム保護手袋  
 眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）  
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣  
 適切な衛生対策 : 情報無し

## 【 9 . 物理的及び化学的性質】

外観	
物理的状态／形状	: 粉末
色	: 青色
臭い	: 無臭
臭いの閾値	: 情報無し
pH	: 測定不可
融点 (流動点)	: 情報無し
沸点	: 情報無し
引火点	: 検出せず
蒸発速度	: 情報無し
燃焼性 (固体、ガス)	: 情報無し
燃焼又は爆発範囲	: 上限 : 情報無し 下限 : 情報無し
蒸気圧	: 情報無し
蒸気密度	: 情報無し
密度 (比重)	: 情報無し
溶解度	
水溶解性	: 不溶
溶媒溶解性	: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解
n-オクタンール／水分配係数 (log Pow)	: 情報無し
自然発火温度	: 情報無し
分解温度	: 情報無し
粘度 (粘性率)	: 情報無し
その他のデータ	: 情報無し

## 【 1 0 . 安定性及び反応性】

化学的安定性	: 通常の使用では安定。
危険有害反応可能性	: 安定。
避けるべき条件	: 情報無し
混触危険物質	: 情報無し
危険有害な分解生成物	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【 1 1 . 有害性情報】

急性毒性	
経口	
製品についての情報	: ラット, LD50 : > 2000 mg/kg
経皮	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸入	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	: ウサギ, 未希釈, 4時間 半閉鎖貼付試験 (OECD404) : 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚	
製品についての情報	: モルモット, G P M T 法 : 陰性

変異原性 (生殖細胞変異原性)	
製品についての情報	: Ames試験 (TA98, TA100, TA1535, TA1537, TA1538, WP2uvrA) : 陰性
成分についての情報	: 情報無し
発がん性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
IARC	: グループ3 : ヒトに対する発がん性について分類できない 非晶質シリカ
NTP	: リストされていない
EU	: リストされていない
日本産業衛生学会	: リストされていない
生殖毒性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【12. 環境影響情報】

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壌中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

## 【13. 廃棄上の注意】

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照。  
産業廃棄物処理業者に委託する。  
粉塵爆発の危険性があるので粉塵爆発防止措置を講じて、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処理する。

## 【14. 輸送上の注意】

国際規制	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号	: 該当しない (IMDG, IATA)
国内規制	: 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策 及び条件	: 【6. 漏出時の措置】を参照。 【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 40℃以上となる鉄板等の上に直接のせないこと。

## 【15. 適用法令】

## 国内適用法令

- ： 化学物質排出把握管理促進法：該当しない  
 労働安全衛生法：法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき危険物及び有害物  
     シリカ(1-5%)  
     固形パラフィン(1-5%)  
     銅及びその化合物(1-5%)  
     すず及びその化合物(0.1-1%)  
 毒物及び劇物取締法：該当しない  
 火薬類取締法：該当しない  
 高圧ガス保安法：該当しない  
 消防法：該当しない  
 化審法：特定・監視・優先評価化学物質に該当しない  
 船舶安全法：該当しない  
 航空法：該当しない

## 物質登録情報

- ： ENCS(Japan) 有り  
 TSCA(USA) 有り  
 EINECS(EU) 無し(ELINCS届出)  
 AICS(Australia) 有り  
 DSL(Canada) 有り  
 ECL(Korea) 有り  
 PICCS(Philippines) 有り  
 IECSC(China) 有り

## 【16. その他の情報】

## 引用文献

- ： ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2012)  
 ・ 国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラズガイド  
 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年  
 ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月

## 免責文

- ： 当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。